

2020・小学校高学年「風を切って走りたい：夢をかなえるバリアフリー自転車」 1/2

□ なぜこの本を選んだかと言うと、だからです。

□ 堀田健一さんは 40 年間で 2600 台ものバリアフリーの自転車を作りつづけてきました。

バリアフリーとは、という意味です。

□ 堀田さんの作り自転車は、普通に売っている自転車と違って

という人たちのために

という方法 / 手間をかけて / という気持ちで 作られています。

□ 私は堀田さんの自転車づくりを知って、

だと思いました / だと感じました。

□ 日頃、自転車に乗れることがあたりまえだと思うと、自転車に乗りたくても乗れない人のことを考えることが
ありませんでした。その点について改めて考えてみると、

と思いました / と感じました。

□ 私【あたりまえのことができなくなった体験 / やりたくてもがまんしなくてはいけない体験】①状況の説明：

いつ・どこで・だれが / だれに ②行動：きっかけ / 理由・何を・どうした・どのように / どのくらい・なぜ /

どうして ③状況 / 心の変化：どうなったのか、どう思ったのか、何が変わったか ということがありました。

そのこと / 経験から、（できることに感謝する / がまんすることでわかることもある / できる努力をする）

という考え方ができるようになりました / という気持ちがわかりました。

□ 堀田さんはたくさんの苦勞をして自転車づくりを続けました。私は

と思いました / と感じました。

□ そして、一生懸命な / 苦勞しても続ける / 人のために働く 堀田さんを支えてくれる人がいたことを知って、

私は と考えました / と共感した。

□ なぜなら、【人のためにがんばり続けた体験 / がんばっている人を応援したいと思った体験】①状況の説明

②行動 ③状況 / 心の変化 ということがあったからです。

そのこと / 出来事から、（一生懸命がんばるといつかは認めもらえる / 頑張っていれば誰かが見ていてくれる /

コツコツと続けているとまわりは応援したくなる） と思いました / という気持ちがわかります。

□ 堀田さんの自転車づくりは最初から順調だったわけではないかもしれないけれど、

と思いました / と感じました。

2020・小学校高学年「風を切って走りたい：夢をかなえるバリアフリー自転車」 2/2

□この本を読んで一番おどろいた / 感動した / 共感した こと / 場面は、

です。

なぜなら、

だからです。

□バリアフリーの / 誰でも乗れる 自転車をつくるということは、

と思います / 感じました。

□私は堀田さんは / 堀田さんの業績は

なのではないかと思いました / 考えました。

□私は堀田さんの業績がいろいろと表彰されて認められていることを知って、

と思いました / 感じました。

□もし、堀田さんがいなかったら / 堀田さんが自転車づくりをやめてしまったら、

なのではないかと思いました / 考えました。

□今もなお、多くの人に自転車を作りつづけ、感謝されている堀田さんは、

と思います / 感じました。

□この本を読む前は、「バリアフリー」について、

と考えていました / 深く考えていませんでした / きちんと理解できていませんでした。

□世界や日本のあちこちで、「バリアフリー」という言葉が使われています。誰でも乗れる自転車 / 障がい

あっても自立できる / 障がいがあっても自分の力だけでやれることが増える ということを知って。私は

ということを改めて考えさせられました。

そして、これからは「バリアフリー」という言葉を目にしたとき、

と考えるように / 思い出すようにしたいです。

□この本は堀田健一さんが作った2600台の自転車 / 作り続けた40年間の本当にあった物語です。

□堀田さんが実際の人物でノンフィクションのお話だからこそ、身近に / 現実的に / 興味を持って / 共感して

読むことができました。ノンフィクションの / 実際の / 本当にあった / 実在の人物の お話は、空想の話よりも

と思いました / 感じました。

□私は堀田さんの偉業 / 生き方 / 考え方 / 頑張ってきたこと から、

ということを感じました / 学びました / かんがえるようになりました。